

1. 名称	
高知県立病院群総合医・家庭医養成後期研修プログラム	

2. プログラム責任者			
氏名	的場俊	指導医認定番号	2013-159
所属・役職	県立あき総合病院 総合診療内科部長		
所在地・連絡先	住所 〒784-0027 高知県安芸市宝永町 3-33 電話 0887-34-3111 / FAX0887-34-2687		
連絡担当者氏名*・役職	川村昌史 県立幡多けんみん病院 内科		
連絡先*	電話 0880-66-2222 / FAX0880-66-2111		

3. 後期研修医定員	
1年あたり（2）名 （×研修期間年数＝総定員6名）	

4. プログラムの期間	
（3）年間	

## 5. 概要

### 1. 研修の概要

当プログラムは、以下の内容を特徴としている。

#### 1) 高知全体のフィールドを満喫できる研修

中山間地域～沿海地域など東西に広がる高知全体を眺められるフィールドを活用し、高知の文化・習慣・環境を満喫しつつ、基幹病院・中小病院・診療所など多様な規模の研修医療機関からニーズに合わせたプログラム構成が可能である。

#### 2) 円滑な地域医療連携を通して優れた総合診療専門研修ができる

病棟から外来、そして在宅へと複数の医療機関の円滑な地域医療連携を通して、総合医・家庭医に必要とされるコンピテンシーの涵養が可能である。

#### 3) 充実した研修サポート

総合診療専門研修Ⅱでは、学会認定指導医がマンツーマンで研修指導にあたる。また総合診療専門研修Ⅰでは、週1回遠隔テレビ会議システムを活用して、その週のケースの振り返りやメンタリング、またポートフォリオ作成の指導を行う。随時、経験した事例により Significant Event Analysis (SEA) やケースカンファレンスを開催し、研修医・指導医全体での学びとする。複数の学会認定指導医が在籍しており、随時オンライン上での研修指導のサポートすることができる。

### 2. 研修の目標

#### 1) 一般目標 (GIO)

地域に住むすべての人々の健康問題に幅広く対応できる医療者になるために、地域の基幹病院や中小病院また診療所のそれぞれの役割を理解し、地域の多職種とも連携・協働しながら、地域包括ケアを省察的に実践できる資質を獲得する。

#### 2) 行動目標 (SBOs)

##### 2-1) 外来医療

- ・ 頻度の高い外来急性期・慢性期疾患のマネジメントができる
- ・ 健康問題は臓器、年齢、性別を問わず、生物医学的アプローチと心理社会的アプローチをバランスよく組み合わせて診療することができる
- ・ 救急外来において重大な疾患を見逃さず、軽症救急全般および中等症救急の一部を担当できる
- ・ 定期健康診断の実施と判定ができる
- ・ 全年代にわたる必要なワクチンの推奨や計画立案、接種ができる
- ・ 栄養・運動などの適切な生活習慣の提案ができ、必要な場合に行動変容のアプローチができる
- ・ 継続的な医師・患者関係、身近なかかりつけ医機能を果たすことができる
- ・ 家族や地域の文脈・背景を考慮して、患者のライフサイクルに沿ったケアを行うことができる

##### 2-2) 病棟医療

- ・ 当該地域医療機関において入院頻度の高い疾患・健康問題に対する診断と治療ができる
- ・ 外来・在宅など切れ目のない連携が必要な虚弱高齢者の入院ケア・退院支援ができる
- ・ 心理社会倫理的複雑事例への対応とマネジメントができる
- ・ 癌・非癌患者の緩和ケアができる
- ・ 診断困難事例への対応ができる

##### 2-3) 在宅医療

- ・ 在宅診療・在宅緩和ケアに必要とされる諸問題に対応できる
- ・ 在宅急性期医療に必要なアセスメント、入院適応の判断、臨死期の対応ができる
- ・ 多職種との連携・協働の実践、困難事例への取り組みができる

##### 2-4) 地域・コミュニティ志向型ケア

- ・ 施設入所者の日常的なマネジメントができ、急変時の対応や入院適応の判断ができる
- ・ 地域の医療、福祉に関する啓発活動・ヘルスプロモーションができる

- ・ 学校医業務ができる
- ・ 産業医業務ができる

#### 2-5) 教育・研究

- ・ 診療の場で生じた疑問について、自ら学習課題を設定ができ、また EBM 手法を利用して解決できる
- ・ 診療で生じる予想外の出来事を振り返り、教訓を引き出し、次に学びや実践の課題を設定する省察的実践ができる
- ・ 多職種と連携・対話しながら共同学習を組織することができる
- ・ 卒前地域医療教育・初期研修医の地域医療研修の指導ができる
- ・ プライマリ・ケアや地域医療における研究の意義を理解し、様々な形で協力・実践できる

### 3. 研修の内容

#### 1) 後期研修 1・2 年目

基幹病院である県立あき総合病院または県立幡多けんみん病院にて、「総合診療専門研修Ⅱ（12 か月）」「内科（6 か月）」「小児科（3 か月）」の研修をする。またニーズにあわせ、ブロック研修として「救急科」※または「領域別」を選択する。「救急科」研修医療機関は、県立あき総合病院、または高知医療センターから選択する。

#### 2) 後期研修 3 年目

5 つの中小病院・診療所から、ニーズに合わせた研修医療機関を選択し、病棟や外来また在宅、当該医療機関のフィールドを活かした「総合診療専門研修Ⅰ（12 か月）」を行う。ニーズにより、週 1 回「救急科」※または「領域別」の兼任研修（12 か月）が可能である。

※「救急科」については、後期研修 1・2 年目の 3 か月のブロック研修、または後期研修 3 年目の週 1 回の兼任研修（12 か月）のうち、少なくとも一方の選択を必修とする。

### 4. 研修科目と研修医療機関

#### 1) 「内科」「小児科」「総合診療専門研修Ⅱ」「領域別」

- ・ 県立あき総合病院（270 床）
- ・ 県立幡多けんみん病院（355 床）

#### 2) 「総合診療専門研修Ⅰ」

- ・ 大月病院（25 床）
- ・ 大正診療所（19 床）
- ・ 梶原病院（30 床）
- ・ 嶺北中央病院（131 床）

#### 3) 「救急科」

- ・ 県立あき総合病院（270 床）
- ・ 高知医療センター（646 床）

### 5. 処遇等

- ・ 身分は、各研修医療機関の正規職員（地方公務員）とする
- ・ 給与・手当等は規定に基づき支給
- ・ 宿舎は、敷地内・近隣医師宿舎を利用可能
- ・ 学会・研修会への参加は予算範囲内で支給

### 6. 研修終了後の進路

- ・ 日本プライマリ・ケア連合学会認定医・家庭医療専門医、地域包括ケア認定医の取得が可能
- ・ 希望により地域医療機関での勤務継続が可能

- ・ 高知県の様々なロケーションと規模の医療施設での勤務が可能
- ・ 本人の希望にあわせた高知大学医学部での教育・研究への従事や大学院進学などのキャリア形成支援も可能

モデルとなるローテーション例

1) 『県立あき総合病院』と中心としたローテーション例

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療専門研修Ⅱ (12ヶ月)											
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科 (6ヶ月)						小児科 (3ヶ月)			救急科/領域別 (3ヶ月)		
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療専門研修Ⅰ (12ヶ月)											
-----												
救急科/領域別研修 (週1回×12ヶ月)												

2) 『県立幡多けんみん病院』を中心としたローテーション例

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科 (6ヶ月)						小児科 (3ヶ月)			救急科/領域別 (3ヶ月)		
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療専門研修Ⅱ (12ヶ月)											
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療専門研修Ⅰ (12ヶ月)											
-----												
救急科/領域別研修 (週1回×12ヶ月)												

プログラムの全体構成 (月単位の換算による)

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ						総合診療専門研修Ⅱ					
	(12) カ月						(12) カ月					
領域別 研修	内科			小児科			救急科			その他		
	(6) カ月			(3) カ月			(3) カ月			(3) カ月		

6-1. 総合診療専門研修Ⅰ

研修施設名 1	国保大月病院	診療科名 ( 内科 )
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院	病院病床数 ( 25 ) 床 診療科病床数 ( 25 ) 床
総合診療専門研修Ⅰにおける研修期間	( 12 ) カ月	
研修期間の分割	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
研修期間の分割について具体的に記入してください		
指導医氏名 1	橋元 球一	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 認定番号 : 2014-0327 ) <input type="checkbox"/> 無	

要件（各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（ <input checked="" type="checkbox"/> のように））	
<b>ケアの内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加	
<b>施設要件</b> <input checked="" type="checkbox"/> 患者層：研修医の経験する症例は、学童期以下が5%以上、後期高齢者が10%以上である。 <input type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他の方法で研修を補完している。（※下記に具体例を記入ください） （ ）	
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。 具体的な体制と方略 （在宅患者の電話対応や、急患の夜間診察を行っている。）	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。 具体的な体制と方略 （外来は主治医制をとっているため同一患者のフォローが可能、介護保険の申請も行っている。）	
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。 具体的な体制と方略 （病棟管理で急性期から在宅までの管理を行う。末期患者の看取りも受け入れている。）	
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。 具体的な体制と方略 （基幹病院への紹介や転院を受け入れている。月1回地域ケア会議を実施し、情報を共有している。）	
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。 具体的な体制と方略 （かかりつけの患者の家族であれば、家庭環境や地域性などの情報がわかり治療の一助になる。）	
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。 具体的な体制と方略 （地域別に特定健診を実施し、報告会では医師が健康問題について講演している。）	
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している。 具体的な体制と方略 （月70件の訪問診療を行っている。必要に応じて定期以外に往診している。急変時は入院管理も行っている。）	
週当たり研修日数：(4) 日	
総合診療専門研修Ⅰの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数	
内容	研修医のニーズに合わせて「領域別」または「救急科」研修を行う。期間は週1回で12ヶ月の予定である。
日数	(1) 日/週

<b>6-1. 総合診療専門研修Ⅰ</b>		
研修施設名 3	国保大正診療所	診療科名（ 内科 ）
施設情報	<input checked="" type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院	病院病床数（ 19 ）床    診療科病床数（19）床
総合診療専門研修Ⅰにおける研修期間	（ 12 ）カ月	
研修期間の分割	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	
指導医氏名 1	西尾美紀	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input checked="" type="checkbox"/> 有（認定番号：2013-532      ） <input type="checkbox"/> 無	
要件（各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（ <input checked="" type="checkbox"/> のように））		
<b>ケアの内容</b> <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど		

<p>■訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事</p> <p>■地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加</p>	
<p><b>施設要件</b></p> <p>□患者層：研修医の経験する症例は、学童期以下が5%以上、後期高齢者が10%以上である。</p> <p>■上記の要件を満たさないが、他の方法で研修を補完している。(※下記に具体例を記入ください)</p> <p>(月平均学童期の定期・任意予防接種者は全診療数の4.9%。救急含め学童期の急性期疾患もすべて断らずに対応している。)</p>	
<p>■アクセスの担保：24時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>(急性期疾患について24時間当直医が対応している。また在宅患者も24時間当直医が対応し、必要に応じて主治医に相談できる体制をとっている。また救急車の受け入れについても基本的に断らずに対応している。)</p>	
<p>■継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>(外来・入院患者、訪問診療の患者と主治医制をとり、定期受診は予約を入れることで継続的に関わり、訪問患者では多職種とのやり取りをしながら継続的に関わる体制をとっている。)</p>	
<p>■包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>(乳児から高齢者まで多様な年齢層に対し急性期・慢性期の外来診療と予防・医学的アプローチ、訪問診療を含めた緩和ケアを提供できる診療体制をとっている。)</p>	
<p>■多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>(高次医療機関との紹介・逆紹介はスムーズに行われ、必要時には画像転送システムを使用した相談を行える関係性がある。地域の介護・福祉機関とは週1回の地域ケアミーティングで情報交換や症例の相談を行える体制がある。)</p>	
<p>■家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>(同一家族が受診した際に家族のつながりが分かるようにカルテに関係を記載し、予約の際は同じ時間帯で外来受診できるように調整を行い、家族単位でのかかりつけとして利用できる体制がある。)</p>	
<p>■地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>(受診していない地域住民への対応として、毎月町の広報に疾患に関する記事を掲載し情報提供を行っている。保健師や学校の養護教諭などとも連携しながら、複数のプロジェクトを年間を通して実現する。)</p>	
<p>■在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>(約15件の訪問診療件数を抱え、月約20回の定期訪問診療を継続的に行うだけでなく、臨時往診も時間内および時間外も含めて積極的に対応している。希望があれば在宅緩和ケアも積極的に行い、患者・家族が希望する際には在宅看取りがスムーズに行える連携体制を構築している。)</p>	
<p>週当たり研修日数：(4)日</p>	
<p>総合診療専門研修Ⅰの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数</p>	
内容	研修医のニーズに合わせて「領域別」または「救急科」研修を行う。期間は週1回で12ヶ月の予定である。
日数	(1)日/週

<p><b>6-1. 総合診療専門研修Ⅰ</b></p>			
研修施設名 4	国保枳原病院	診療科名 (内科 )	
施設情報	□診療所      ■病院	病院病床数 ( 30 ) 床	診療科病床数 (30) 床
総合診療専門研修Ⅰにおける研修期間		( 12 ) カ月	
研修期間の分割		■なし □あり	
研修期間の分割について具体的に記入してください			
指導医氏名 1	内田望	■常勤	□非常勤

学会認定指導医資格	■有（認定番号：2013-817） □無
要件（各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））	
<b>ケアの内容</b>	
<p>■外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど</p> <p>■訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事</p> <p>■地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加</p>	
<b>施設要件</b>	
<p>■患者層：研修医の経験する症例は、学童期以下が5%以上、後期高齢者が10%以上である。</p> <p>□上記の要件を満たさないが、他の方法で研修を補完している。（※下記に具体例を記入ください）</p> <p>（ ）</p>	
<p>■アクセスの担保：24時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>（急性期疾患については、24時間当直医が対応。在宅患者も24時間当直医が対応し、必要に応じて主治医に相談できる体制をとっている。）</p>	
<p>■継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>（外来患者・訪問診療の患者とも緩やかな主治医制をとり、定期受診は予約診療にて継続的に関わり、訪問患者では主治医意見書や多職種とのやり取りは担当する医師が主体となって継続的に関わる体制をとっている。）</p>	
<p>■包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>（例：0歳から100歳を超える高齢者といった多様な年齢層に対して、急性期・慢性期の外来診療と予防医学的アプローチ、訪問診療を含めた緩和ケアを提供できる診療体制をとっている。保健福祉支援センターと協働しながら健康教室などでの講演も行っている。）</p>	
<p>■多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>（第3次医療機関との紹介・逆紹介はスムーズに行われ、必要時には電話での相談を行える関係性がある。ケアマネジャーや保健師とは毎週ケアプラン会を開催し、地域の介護・福祉機関とは月1回の地域ケア会議で情報交換や症例の相談を行える体制がある。）</p>	
<p>■家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>（同一家族が受診した際に家族のつながりが分かるようにカルテに記載されており、様々な構成員が家族単位でのかかりつけとして利用できる体制がある。）</p>	
<p>■地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>（保健福祉支援センターと健康推進員の協働で、健診受診率向上を図っている。また、年間10回程度各集落に出向いて、病院と町民との座談会を開催し、かかりつけ医としての病院の利用を促している。）</p>	
<p>■在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している。</p> <p>具体的な体制と方略</p> <p>（50件を超える訪問診療・往診件数を抱え、定期的な訪問診療を継続的に行うだけでなく、グループとして臨時往診も時間内および時間外も含めて積極的に対応している。在宅緩和ケアも積極的に行い、患者・家族が希望する際には在宅看取りがスムーズに行える連携体制をケアマネジャー・病院・診療所看護師・訪問看護師と構築している。）</p>	
週当たり研修日数：（4）日	
総合診療専門研修Ⅰの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数	
内容	研修医のニーズに合わせて「領域別」または「救急科」研修を行う。期間は週1回で12ヶ月の予定である。
日数	（1）日/週

<b>6-1. 総合診療専門研修Ⅰ</b>		
研修施設名 5	国保嶺北中央病院	診療科名（内科）
施設情報	□診療所      ■病院	病院病床数（131）床    診療科病床数（111）床

総合診療専門研修 I における研修期間	( 12 ) カ月
研修期間の分割	■なし □あり
研修期間の分割について具体的に記入してください	
指導医氏名 1	佐野正幸 <span style="float: right;">■常勤 □非常勤</span>
学会認定指導医資格	■有 ( 認定番号 : 2014-0934 ) □無
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))	
<b>ケアの内容</b> ■外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど ■訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 ■地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加	
<b>施設要件</b> <input type="checkbox"/> 患者層：研修医の経験する症例は、学童期以下が 5%以上、後期高齢者が 10%以上である。 <input checked="" type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他の方法で研修を補完している。 (年平均学童期の定期・任意予防接種者 44 人。時間帯を問わず、24 時間体制で学童期の急性期疾患もすべて断らずに対応している。)	
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。 <b>具体的な体制と方略</b> (急性期疾患については、24 時間当直医が対応する。また在宅患者は 24 時間当直医より携帯電話で主治医に相談できる体制をとっている。)	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。 <b>具体的な体制と方略</b> (外来患者・訪問診療の患者とも緩やかな主治医制をとり、定期受診は予約を入れることで継続的に関わり、訪問患者では主治医意見書や多職種とのやり取りは担当する医師が主体となって継続的に関わる体制をとっている。)	
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。 <b>具体的な体制と方略</b> (0 歳から 100 歳までの多様な年齢層に対して、急性期・慢性期の外来診療と予防医学的アプローチ、訪問診療を含めた緩和ケアを提供できる患者層と診療体制をとっている。)	
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。 <b>具体的な体制と方略</b> (第 3 次医療機関との紹介・逆紹介はスムーズに行われ、必要時には電話での相談を行える関係性がある。MSW、地域連携室を通じて、ケアマネジャーとは在宅ミーティング、退院前カンファレンスを行い、地域の介護・福祉機関とは地域ケアミーティングで情報交換や症例の相談を行える体制がある。)	
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。 <b>具体的な体制と方略</b> (同一家族が受診した際に家族のつながりが分かるように配慮され、様々な構成員が家族単位でのかかりつけとして利用できる体制がある。)	
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。 <b>具体的な体制と方略</b> (地域健診結果報告会、住民教育講座をとおして、受診していない地域住民への集団アプローチを考える機会を持たせている。地域包括支援センターや保健師や学校の養護教諭などと連携しながら 1 つもしくは複数のプロジェクトを年間を通して実現する。)	
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している。 <b>具体的な体制と方略</b> (18 件を超える訪問診療件数を抱え、月 5 回の定期訪問診療を継続的に行うだけでなく、臨時往診も対応している。在宅緩和ケアも積極的に行い、患者・家族が希望する際には在宅看取りがスムーズに行える連携体制をケアマネジャー・診療所医師・診療所看護師・訪問看護師と構築している。)	
週当たり研修日数：( 4 ) 日	
総合診療専門研修 I の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数	
内容	研修医のニーズに合わせて「領域別」または「救急科」研修を行う。期間は週 1 回で 12 ヶ月の予定である。
日数	(1) 日/週



6-2. 総合診療専門研修Ⅱ		
研修施設名 1	県立あき総合病院	診療科名 (内科 )
施設情報	病院病床数 ( 270 ) 床	診療科病床数 ( 50 ) 床
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	(12) カ月	
研修期間の分割	■なし □あり	
研修期間の分割について具体的に記入してください		
指導医氏名 1	的場 俊	■常勤 □非常勤
学会認定指導医資格	■有 (認定番号 : 2013-159 ) □無	
要件 (各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))		
<b>ケアの内容</b>		
■病棟診療 : 病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題 (心理・社会・倫理的問題を含む) を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。		
■外来診療 : 臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する。		
<b>施設要件</b>		
■一般病床を有する		
■救急医療を提供している		
病棟診療 : 以下の全てを行っていること		
■高齢者 (特に虚弱) ケア 具体的な体制と方略 (指導医とともに毎朝のカンファレンスと回診を共同で行い、マネジメントに直接関わる。)		
■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略 (入院患者さんの問題点を毎日アップデートし、可能なものから解決を図る。)		
■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略 (普段から他科の医師と会話をする環境から協力関係をつくり、容易にコンサルトしたり、受けたりできる関係をつくる)		
■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略 (精神科医師と相談をしつつ自らが主治医となり、マネジメントを行う。)		
■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略 (癌専門医と協力し、主治医として患者さんのマネジメントを行う。)		
■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略 (地域連携室スタッフ、理学療法士、病棟スタッフと退院前カンファレンスを行う。)		
■在宅患者の入院時対応 具体的な体制 (在宅診療患者さんの入院時、主治医となって病棟管理を行う。)		
外来診療 : 以下の診療全てを行っていること		
■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略 (内科のみならず、外傷から精神的疾患まで、指導医とともに治療にあたる。)		
■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略 (1週間に1日~2日、多彩な訴えをもつ初診患者の診察にあたる。)		

<b>■よくある症候と疾患</b> <b>具体的な体制と方略</b> (実際の診療をすることにより、上気道炎や感染性胃腸炎など、コモンディージーズの診断と治療の基本を習得する。)	
<b>■臨床推論・EBM</b> <b>具体的な体制と方略</b> (Up to date など文献検索ソフトは医局や救急室で自由に閲覧・利用可能。すべての科の医師と合同で毎月1回画像症例検討会を実施している。臨床推論の内容の発表もこのカンファレンスで行っている。)	
<b>■複数の健康問題への包括的なケア</b> <b>具体的な体制と方略</b> (安芸市包括支援センターと2ヶ月に1回定期的な合同カンファレンスを行い、在宅患者の情報交換会を行っている。また訪問看護スタッフと在宅ターミナル患者さんの情報交換を行っている。)	
<b>■診断困難患者への対応</b> <b>具体的な体制と方略</b> (毎朝午前8時5分から内科系医師および救急専属医による入院患者ミーティングを行っており、その際、診断困難な患者さんのカンファレンスを行っている。また随時、指導医とディスカッションを行う)	
週当たり研修日数：(5)日	
総合診療専門研修Ⅱの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数	
内容	特になし
日数	0日/週

6-2. 総合診療専門研修Ⅱ		
研修施設名2	県立幡多けんみん病院	診療科名(内科)
施設情報	病院病床数(355)床	診療科病床数(50)床
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間	(12)カ月	
研修期間の分割	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <small>研修期間の分割について具体的に記入してください</small>	
指導医氏名1	川村昌史	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤
学会認定指導医資格	<input checked="" type="checkbox"/> 有(認定番号:2014-0241) <input type="checkbox"/> 無	
要件(各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす(■のように))		
<b>ケアの内容</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する。		
<b>施設要件</b>		
<input checked="" type="checkbox"/> 一般病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している 病棟診療：以下の全てを行っていること <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者(特に虚弱)ケア <b>具体的な体制と方略</b> (当科の入院患者の約8割、外来患者の約6割は高齢者であり、介護を要する虚弱な高齢者も多く、治療だけではなくケアに関しても留意した診療を行なっている。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 <b>具体的な体制と方略</b> (高齢者や合併症を伴う慢性疾患患者など多くの健康問題を抱える患者に対して他科の臓器別専門医やコメディカルスタッフと共に適切な解決方法を模索しながら対応している。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 <b>具体的な体制と方略</b> (当院は地域の中核病院であり、各種専門科を有しており、院内の各専門医と協力して適切な医療を提供している。血液系の悪性腫瘍については高知県内の専門医療機関(高知医療センターや高知大学など)と連携して対応している)		

る。)
<p>■心理・社会・倫理的複雑事例への対応  <b>具体的な体制と方略</b>  (週一回の多職種(医師・看護師・栄養士・理学療法士・言語聴覚士・作業療法士・MSW・事務職員によるカンファレンスを行ない適切な対応を検討している。)</p>
<p>■癌・非癌患者の緩和ケア  <b>具体的な体制と方略</b>  (当院は癌拠点病院でもあり、少なくとも月一回程度の勉強会や二ヶ月に1回程度のキャンサーボードなどを通じて適切なケアを提供できる様にしている。)</p>
<p>■退院支援と地域連携機能の提供  <b>具体的な体制と方略</b>  (地域医療室という地域医療機関や施設との連携を取る部門や退院指導を行なう専従看護師、MSWらと適宜協議し、退院後も適切な医療や公的サービスを受ける事が出来るよう対応している。)</p>
<p>■在宅患者の入院時対応  <b>具体的な体制</b>  (当院からは訪問診療は行なっていないが、近隣医療機関が訪問診療を行なっている在宅療養患者の病状悪化時の受け入れやレスパイト目的の入院についても適宜対応している。)</p>
<p>外来診療：以下の診療全てを行っていること  ■救急外来及び初診外来  <b>具体的な体制と方略</b>  (一般内科外来は平日の午前中に行なっており、救急外来については平日夜間、土日祝日は全日救急対応を行なっている。年間救急患者数は約14000件で豊富な症例を経験可能と思われる。)</p>
<p>■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者  <b>具体的な体制と方略</b>  (内科外来では多くの領域に渡る疾患群に対応しており、多種多様な健康問題に悩む患者に対応している。)</p>
<p>■よくある症候と疾患  <b>具体的な体制と方略</b>  (内科外来を受診される患者の8割は頻度の高い症候や疾患の患者である。)</p>
<p>■臨床推論・EBM  <b>具体的な体制と方略</b>  (院内で各種文献検索が可能な体制を取り、またUp to dateを院内で自由に検索できる体制も構築している。また週に一度はEBMの観点も視野に入れた外来症例の症例検討会を行なっている。)</p>
<p>■複数の健康問題への包括的なケア  <b>具体的な体制と方略</b>  (多くの健康問題を有する患者に対して院内各専門科やコメディカルスタッフとも連携し、包括的かつ適切なケアを提供すべく対応している。)</p>
<p>■診断困難患者への対応  <b>具体的な体制と方略</b>  (不明熱や原因不明の体重減少などの症例も月に数例程度は受診され、その対応を行なっている。また院内発生不明熱患者などへのコンサルテーション対応も行なっている。)</p>
<p>週当たり研修日数：(5)日</p>
<p>総合診療専門研修Ⅱの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数</p>
<p>内容：特になし</p>
<p>日数：(0)日/週</p>

6-3. 領域別研修：内科		
研修施設名1	県立あき総合病院	診療科名(消化器科・循環器科)
病院病床数	(270)床	
領域別研修(内科)における研修期間		(6)カ月
指導医氏名1	大崎 純子	
臨床経験年数	(23)年	

有する認定医・専門医資格	日本消化器病学会専門医 日本内視鏡学会専門医 内科認定医 総合内科専門医	
要件（各項目を満たすとき、口を塗りつぶす（■のように））		
<b>ケアの内容</b>		
■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。		
<b>施設要件</b>		
■医師法第16条の2および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である。		
■内科病床数が50床以上ある。	(50) 床	
■内科常勤医が5名以上いる。	(6) 名	
■後期研修プログラムの認定に関する細則第9条(5)に定める指導医が病院全体として3名以上いる。 (3) 名		
週当たり研修日数：(1) 日		
領域別研修（内科）の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数		
内容	特になし	
日数	0日/週	
<b>6-3. 領域別研修：内科</b>		
研修施設名2	県立幡多けんみん病院	診療科名（内科・消化器科・循環器科）
病院病床数	(355) 床	
領域別研修（内科）における研修期間		(6) カ月
指導医氏名1	上田弘	
臨床経験年数	(28) 年	
有する認定医・専門医資格	日本消化器病学会指導医・日本内視鏡学会指導医・日本肝臓病学会認定医・日本内科学会認定医研修指導医	
指導医氏名2	沖裕昌	
臨床経験年数	(11) 年	
有する認定医・専門医資格	日本消化器内視鏡学会専門医・日本消化器病学会専門医・日本内科学会総合内科専門医	
指導医氏名3	矢部敏和	
臨床経験年数	(26) 年	
有する認定医・専門医資格	日本循環器学会専門医・日本内科学会研修医指導医・日本老年病学会専門医・日本高血圧学会指導医	
指導医氏名4	寺内靖順	
臨床経験年数	(10) 年	
有する認定医・専門医資格	日本循環器学会専門医・日本内科学会総合内科専門医	
指導医氏名5	岡村浩司	
臨床経験年数	(28) 年	
有する認定医・専門医資格		
指導医氏名6	川村昌史	
臨床経験年数	(22) 年	
有する認定医・専門医資格	日本消化器内視鏡学会専門医・日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医	
指導医氏名7	稲田昌二郎	

臨床経験年数	(13) 年
有する認定医・専門医資格	日本内科学会認定医研修指導医・日本糖尿病学会専門医
要件（各項目を満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））	
<b>ケアの内容</b> ■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。	
<b>施設要件</b> ■医師法第 16 条の 2 および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である。	
■内科病床数が 50 床以上ある。	(94) 床
■内科常勤医が 5 名以上いる。	(17) 名
■後期研修プログラムの認定に関する細則第 9 条 (5) に定める指導医が病院全体として 3 名以上いる。 (6) 名	
週当たり研修日数：(5) 日	
領域別研修（内科）の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数	
内容	特になし
日数	(0) 日/週

<b>6-4. 領域別研修：小児科</b>		
研修施設名 1	県立あき総合病院	診療科名（小児科）
病院病床数	(270) 床	診療科病床数 (20) 床
領域別研修（小児科）における研修期間		3 カ月
指導医氏名	前田 賢人	
臨床経験年数	17 年	
有する専門医資格	日本小児科学会 専門医	
要件（各項目の全てを満たすとき、□を塗りつぶす（■のように））		
<b>ケアの内容</b> ■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的によく遭遇する症候や疾患の対応を経験する。 ■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1 次救急を中心に経験する。 ■病棟診療：日常的によく遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ。		
<b>施設要件</b> ■小児領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる。 ■小児科常勤医がいる。 (2) 名		
週当たり研修日数：(5) 日		
領域別研修（小児科）の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数		
内容	特になし	
日数	(0) 日/週	
<b>6-4. 領域別研修：小児科</b>		
研修施設名 2	県立幡多けんみん病院	診療科名（小児科）
病院病床数	(355) 床	診療科病床数 (40) 床
領域別研修（小児科）における研修期間		(3) カ月
指導医氏名 1	前田明彦	
臨床経験年数	(24) 年	
有する専門医資格	日本小児科学会専門医	

要件（各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（ <input checked="" type="checkbox"/> のように））	
<b>ケアの内容</b>	
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的によく遭遇する症候や疾患の対応を経験する。	
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する。	
■病棟診療：日常的によく遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ。	
<b>施設要件</b>	
■小児領域における基本能力（診断学、治療学、手技等）が修得できる。	
■小児科常勤医がいる。 (5) 名	
週当たり研修日数：(5) 日	
領域別研修（小児科）の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数	
内容	特になし
日数	(0)日/週

<b>6-5. 領域別研修：救急科</b>			
研修施設名 1	県立あき総合病院		
病院病床数	(270) 床	年間救急搬送件数	(1061) 件
指導医氏名	鮫島 志郎		
要件（各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（ <input checked="" type="checkbox"/> のように））			
<b>ケアの内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
<b>施設要件</b> （下記のいずれか）			
<input type="checkbox"/> 救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）			
<b>指導医要件</b>			
■救急科専門医あるいは救急に専従する医師			
ブロック研修、兼任研修のいずれかを選択し、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（ <input checked="" type="checkbox"/> のように）			
■ブロック研修			
→領域別研修（救急科）における研修期間 (3) カ月			
<input type="checkbox"/> 兼任研修			
→どの研修と組み合わせるか ( )			
週あたり研修日数 ( ) 日、研修期間 ( ) カ月			
週当たり研修日数：(5) 日			
領域別研修（救急科）の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容			
日数	(0)日/週		
<b>6-5. 領域別研修：救急科</b>			
研修施設名 2	高知医療センター		
病院病床数	(646) 床	年間救急搬送件数	(3590) 件
指導医氏名 1	喜多村泰輔		
要件（各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす（ <input checked="" type="checkbox"/> のように））			
<b>ケアの内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
<b>施設要件</b> （下記のいずれか）			
■救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）			

<b>指導医要件</b> ■救急科専門医あるいは救急に専従する医師			
ブロック研修、兼任研修のいずれかを選択し、口を塗りつぶす（■のように）			
■ブロック研修 →領域別研修（救急科）における研修期間（3）カ月 □兼任研修 →どの研修と組み合わせるか（ ） 週あたり研修日数（ ）日、研修期間（ ）カ月			
週あたり研修日数：（5）日			
領域別研修（救急科）の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容			
日数		（0）日/週	
<b>6-5. 領域別研修：救急科</b>			
研修施設名2	高知医療センター		
病院病床数	（646）床	年間救急搬送件数	（3590）件
指導医氏名1	喜多村泰輔		
要件（各項目を満たすとき、口を塗りつぶす（■のように））			
<b>ケアの内容</b> ■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
<b>施設要件</b> （下記のいずれか） ■救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設。 ■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関（救急搬送件数が年に1000件以上）。			
<b>指導医要件</b> ■救急科専門医あるいは救急に専従する医師			
ブロック研修、兼任研修のいずれかを選択し、口を塗りつぶす（■のように）			
□ブロック研修 →領域別研修（救急科）における研修期間（ ）カ月 ■兼任研修 →どの研修と組み合わせるか（総合診療専門研修Ⅰ） 週あたり研修日数（1）日、研修期間（12）カ月			
週あたり研修日数：（1）日			
領域別研修（救急科）の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容			
日数		（0）日/週	

<b>6-6. 領域別研修：その他</b>						
研修領域	必修・ 選択別	ブロック・ 兼任の別	週あたり 研修日数 (兼任の場合)	研修期間	研修施設名と 診療科名	指導医氏名
一般外科	□必修 ■選択	□ブロック ■兼任	(1) 日	(12) カ月	県立あき総合病院 外科	前田 博教
一般外科	□必修 ■選択	■ブロック □兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立あき総合病院 外科	前田 博教
整形外科	□必修 ■選択	□ブロック ■兼任	(1) 日	(12) カ月	県立あき総合病院 整形外科	森澤 豊

整形外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 整形外科	森澤 豊
精神科／ 心療内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 精神科	澤田 健
精神科／ 心療内科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 精神科	澤田 健
産科婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 産婦人科	岡田 眞尚
産科婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 産婦人科	岡田 眞尚
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 皮膚科	廣瀬 康昭
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 皮膚科	廣瀬 康昭
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 泌尿器科	安田 雅春
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 泌尿器科	安田 雅春
眼科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 眼科	吉田 和之
眼科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 眼科	吉田 和之
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 耳鼻咽喉科	西山 正司
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 耳鼻咽喉科	西山 正司
放射線科 (診断・撮影)	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 放射線科	寺島 正子
放射線科 (診断・撮影)	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 放射線科	寺島 正子
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	( 12 ) カ月	県立あき総合病院 リハビリテーション科	森澤 豊
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立あき総合病院 リハビリテーション科	森澤 豊



一般外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 外科	上岡教人
一般外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 外科	上岡教人
整形外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 整形外科	北岡謙一
整形外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 整形外科	北岡謙一
産科婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 産婦人科	中野祐滋
産科婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 産婦人科	中野祐滋
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 皮膚科	藤岡愛
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 皮膚科	藤岡愛
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 泌尿器科	澤田耕治
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 泌尿器科	澤田耕治
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 耳鼻咽喉科	横畠悦子
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 耳鼻咽喉科	横畠悦子
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 リハビリテーション科	北岡謙一
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 リハビリテーション科	北岡謙一
脳神経外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 脳神経外科	西村裕之
脳神経外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	(1-3) カ月	県立幡多けんみん病院 脳神経外科	西村裕之
麻酔科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input type="checkbox"/> ﾌﾟﾛｯｸ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任	(1) 日	(12) カ月	県立幡多けんみん病院 麻酔科	橋壽人

麻酔科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	(-) 日	( 1-3 ) カ月	県立幡多けんみん病院 麻酔科	橘壽人
-----	---	---	-------	------------	-------------------	-----

#### 7. 後期研修医の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、評価計画等具体的に）

- ・ 研修ブロック毎に、Significant event analysis (SEA)形式等でのケースカンファレンス、研修報告会を開催し、形成的評価を行う
- ・ 年に1回、ポートフォリオによる研修報告会を開催し形成的評価を行う
- ・ 随時、認定指導医による面談、メンタリングを実施する
- ・ 3年間の研修修了時には、研修目標の到達度やポートフォリオを発表し、研修プログラム委員会（認定指導医で構成）により、総括的評価を行う

#### 8. プログラムの質の向上・維持の方法

- ・ 研修ブロックごとや年1回の研修報告時、また研修修了時に、研修医・担当指導医よりプログラムへのフィードバックを受け、研修内容・指導方略の改善に活かしていく
- ・ 研修プログラム委員会（認定指導医で構成）において、定期的に指導方法の研修会の開催や指導方法の共有を行うなど、ファカルティ・ディベロプメント（指導医の教育能力を高めるための方略）を実践していく